



ふくしま みんなの

SDGs

Sustainable Development Goals



2022 - 2023

2022年度 活動紹介BOOK

＼もくじ／

SDGsとは	1
ふくしまSDGsプロジェクトとは	2
2022年度の活動	3-4
ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム	5-9
プロジェクトパートナー	10-25
紙面連載「SDGs 福島から未来へ」	26-29
プロジェクトパートナー一覧	30

エスディーゼーズ / SDGsとは

Sustainable Development Goals



人類がこの地球で暮らし続けていくために、
2030年までに達成すべき目標です。

SDGsは英語の「Sustainable Development Goals (サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ)」の頭文字を集めて略した言葉です。

日本語では「持続可能な開発目標」と訳されています。

最後の小文字の「s」は、目標が一つだけではなく、複数あることを示しています。

「持続可能」とは、将来にわたって続けられるということ。「開発」には成長や発達という意味も含まれています。SDGsとは、すべての人々が良い環境で生活し続けられるようになるための道しるべと言えます。

SDGsは2015年の国連サミットで各国のリーダーが決定しました。

17の開発目標があり、さらにより具体的な169の目標があります。「誰一人取り残さない」を合言葉に、2030年までの達成を目指しています。

国際的な目標といっても、社会を動かすには一人一人の行動が欠かせません。SDGsに無縁な人はいません。小さな心掛けが大きな力になります。

私たち一人一人の行動で世界が変わるはずです。
一緒に進んでいきましょう！



ふくしまSDGsプロジェクトとは

ふくしまSDGsプロジェクトは、福島県内の企業や団体、教育・行政機関などが連携し、2021年8月にスタートしました。活動母体の「ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム」は、子どもたちがSDGsを理解し、身近な課題を見つけて解決策を探る環境づくりを中心に取り組んでいます。

SDGsを学ぼう

SDGsを学ぶ公開講座

SDGsに取り組む団体・企業、国連関係者などによる公開講座を開催しています。

出前授業

学校向けに出前授業を実施しています。授業料は無料。協力団体・企業から講師を派遣し、実際に学校に向き授業を行っています。

SDGs関連ニュースの紹介

公式WEBサイト上に、福島民報に掲載した最新のSDGs関連記事をアップしています。

SDGsメールマガジン発行 (月1回配信中)

福島民報で紹介されたSDGs関連の記事をはじめ、プロジェクト主催のセミナー、出前授業、公式サイト最新コンテンツ情報などを登録者に配信しています。

SDGsに取り組もう

みんなのSDGs宣言募集とWEBサイト公開

SDGsの活動を学校教育に活用してもらおうプログラムです。総合的な学習・身近な活動を通して児童・生徒に「持続可能な世界を築くにはどのようなことを行えばよいのか」を考える機会になります。

「SDGsポスター」「SDGs未来新聞」募集とWEBサイト公開

「未来をよくするために私たちにできること」をテーマに児童・生徒から作品を募集し、公式WEBサイトで全作品を公開しています。



「私たちが目指す世界 子どものための『持続可能な開発目標 (SDGs)』」公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの連携

17の目標についてイラストを使ってわかりやすく解説しています。サイトからダウンロードし、学校の授業や企業などで活用していただけます。

県内のさまざまなSDGs活動紹介

4月に小冊子を発行し、県内の全小中学校、高校、大学、自治体に配布します。公式WEBサイトにもPDF版をアップします。学校や団体のSDGsの取り組みを紹介しています。

プロジェクトの詳細は公式WEBサイトへ



ふくしまSDGs

<https://sdgs.fukushima.jp>



2022年度の活動 — 2022.4~2023.3 —

SDGs公開講座・出前講座

福島県ユニセフ協会、福島民報社などコンソーシアムメンバーによる出前講座を行っています。

このうち、福島民報社では県内の各学校で新聞に親しむ出前授業を行っています。担当者はSDGsの基本のほか、SDGsに関連する新聞記事、その見方や特長などを説明しています。



SDGs一般記事を掲載

SDGsのカットを付けた記事を掲載しています。



2023年2月8日付

大型記事を連載「SDGs 福島から未来へ」

月に2回、福島民報の紙面にSDGsに取り組む企業・団体を紹介しています。



2022年3月20日付

SDGs紙面特集の掲載

毎月1回、プロジェクトPR広告・紙面を掲載しています。



2023年1月1日付

メールマガジンの配信

毎月下旬に配信中です。



企業・団体のSDGsの取り組みを紹介するA4サイズの小冊子「ふくしま、みんなのSDGs」の発行、配布

4月に発行し、県内の全小中学校、高校、大学、自治体に無料配布しています。



2022年5月28日付

みんなのSDGs宣言 随時募集

公式ウェブサイトで「みんなのSDGs宣言」を随時受け付けています。

これまで公式ウェブサイトへ寄せられたSDGs宣言はこちらから!

随時募集しています!

SDGsポスター・SDGs未来新聞 募集・発表



「未来をよくするために、私たちにできること」をテーマに、児童・生徒から作品を募りました。今年度はポスター293点、未来新聞61点が寄せられ、公式ウェブサイトですべて掲載しています。

2022（令和4）年9月に郡山市で開催された「ふくしまSDGs博」会場に全作品を展示。後日、優秀作品の贈賞も行いました。

2022年10月15日付

ふくしまSDGs博

SDGsを楽しみながら学ぶ「ふくしまSDGs博」は2022年9月24、25の両日、郡山市のビッグパレットふくしまで開催されました。2日間で延べ1万6000人が来場。ステージ発表、体験イベントが多彩に繰り広げられ、飲食コーナーもにぎわいました。

ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアムは、県内の小中学生、高校生を対象に募集していたSDGs未来新聞、SDGsポスターを会場内に展示。ブース出展し、SDGs宣言書を作成しました。



内閣府「2022年度地方創生SDGs官民連携プラットフォーム一般部門」優良事例に選ばれました
郡山市「第4回こおりやまSDGsアワード」を受賞しました



◀2022年9月25日付▶

公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会

福島市大町2番5号 | Tel 024-528-1145
<https://www.jaycee.or.jp/tohoku/fukushima/>

福島県を誰もが誇れる持続可能な故郷へ

これまでの活動 2019年より日本で1番SDGsを推進する団体を目指し、運動を展開しております。

年間を通し、全ての事業にSDGsを紐付け、計画書にも該当するゴール番号を記載しております。

また、全メンバーの正装にSDGsバッジの着用はもちろん、小学校でのSDGsセミナーの実施や普及事業やイベント等も積極的に開催しています。



福島県商工会議所連合会

福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階 | Tel 024-536-5511
<https://www.fukushima-cci.or.jp>

新たな時代に向けた経営支援強化

- これまでの活動**
- 経営環境の変化に関する販路開拓・新事業創出、創業者支援
 - 感染症対策を含めた新たな災害リスクに対応するための「事業継続計画」の策定支援の推進
 - デジタル活用による中小企業の体質支援強化
 - 高等学校等との連携強化による若者の地元企業への就職促進
 - 各地の魅力、強みを活かした交流・関係人口の拡大の推進



中小企業への経営支援強化



JA福島中央会

福島市飯坂町平野字三枚長1-1 | soshikikouho@ja-fc.or.jp

地元でとれた食材や花を使って「地産地消」の大切さを知ってもらうこと

これまでの活動 JAでは、子どもや地域の人々が集い、安らぐことができる場所を提供するために、地元農産物を多く取り入れた「子ども食堂」など、「地産地消」に貢献する取り組みを行っています。また、小学生が花に親しみ、健全やかな心を育てる機会を設けるために、「花育」の取り組みとして「フラワーアレンジメント教室」を開催しています。

これからの展望 私たちが普段食べているものは、農家の方が丹精こめて作った安全・安心な農畜産物です。JAグループは、地域の人々や子供たちに「食」「農」の大切さを伝えていくための「食農教育」に取り組みます。



JA子ども食堂



フラワーアレンジメント教室



福島県商工会連合会

福島市三河南町1-20 コラッセふくしま9階 | Tel 024-525-3411
<https://f.do-fukushima.or.jp>

中小・小規模事業者のSDGsを活用したビジネスモデルの推進

これまでの活動 SDGsを活用した企業経営を推進していくため、女性経営者らを対象に「SDGs経営戦略セミナー」を開催しました。参加者らはSDGsの概要や企業の取り組み事例を学び、理解を深めるとともに、SDGsに取り組みながら新たなビジネスチャンスにつなげていくことを確認しました。本会では今後も、県内企業のSDGs普及・推進に貢献していきます。



福島県ユニセフ協会

福島市仲間町4番8号 ラコパふくしま4F | Tel 024-522-5566
<http://unicef-fukushima.gr.jp>

世界の子どもの現状を知るとともに、SDGsについて考え、自分たちができることに取り組もう

これまでの活動 6月16日いわき市立内郷第一中学校3年生142名、6月20日須賀川市立大東中学校1~3年生128名、9月1日福島市立大森小学校5年生113名を対象に「ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム」の構成団体として、「SDGsを知ろう、伝えよう」のコーナーの「出前授業」を担いました。



ふくしまSDGs推進プラットフォーム(福島県)

福島市杉妻町2番16号 | Tel 024-521-7109 | <http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/sdgs-pf/>

福島県では、多様な主体による連携・協働の機会を創出し、SDGsを通じた本県の課題解決に向けた広がりや活性化を促進するため、その活動の場としてプラットフォームを設置し、取り組んでいます。

これまでの活動 プラットフォームでは、イベントやセミナー等を通じて、会員の皆さんのSDGsの取り組みの発信やサポートを行っています。

令和4年6月に実施したキックオフイベントではあさか開成高校の皆さんの取り組みの発表や、福島県オリジナルの18番目の目標「複合災害から福島を復興させよう」の発表を行いました。福島民報社主催のふくしまSDGs博へもブース出展し、来場者の方と一緒に、オリジナルの18番目の目標について考えました。

これからの展望 会員の皆さんの取り組みの発信やマッチング支援、分科会の実施などを通じて、県内のSDGsの取り組みを大きなうねりに繋げ、県内外の皆さんとパートナーシップを深めながら本県の課題解決に向けて取り組んでまいります。



令和4年6月13日
プラットフォームキックオフイベント



令和4年9月24日、25日
ふくしまSDGs博の様子



国立大学法人 福島大学

福島市金谷川1番地 | Tel. 024-548-8012
http://www.fukushima-u.ac.jp

食料の安定確保と持続可能な農業の推進や森林の持続可能な管理や生物多様性損失の阻止、廃棄物・ゴミの3R(減量・再利用・リサイクル)を促す社会の仕組みづくりに努めたい

これまでの活動

本学では、エネルギー自給率向上等のためバイオマス発電等の再生可能エネルギーの導入拡大、さらには、食料や森林・水環境の持続可能性に関する研究開発や人材育成に取り組んでいます。また、廃棄物・ゴミの3Rを促す社会づくりや人感センサーを用いた節電、トイレ洗浄水へのリサイクル水活用などにも取り組んでいます。



福大中央広場



公立大学法人 会津大学

会津若松市一箕町鶴賀 | Tel. 0242-37-2510
https://www.u-aizu.ac.jp

AI、IoT、ブロックチェーン、メタバース等の先進的なICTテクノロジーは、さまざまな領域において持続可能な社会の構築に貢献できます

これまでの活動

SDGsを念頭に置いた様々な研究や取り組みを進めていて、質の高い教育、産業と技術革新はもとより、エネルギー分野や健康と福祉分野など、幅広い分野でSDGs目標の実現に寄与する研究等に取り組んでいます。ICTは様々な領域において基盤となる技術になっていて、持続可能な社会の構築に貢献することができます。



会津大キャンパス



桜の聖母短期大学

福島市花園町3-6 | Tel. 024-534-7137
https://www.sakuranoseibo.jp

福島の課題×SDGs×「私」×「私たち」をつなげる学びを。

これまでの活動

本学の「福島学」は、震災直後から設置された科目です。この授業では、福島が震災復興過程から独自に抱えている課題とSDGsのアジェンダを関連付けるフィールドワークとディスカッションを重視しています。「正解」がないからこそ、自分たちの主体性を問う学習活動、そして地域社会を支え続けていく人材としての当事者性を意識できる取り組みをしています。



日本大学工学部

郡山市田村町徳定字中河原1番地 | Tel. 024-956-8618
https://www.ce.nihon-u.ac.jp

地域と連携して取り組む「ロハスの池プロジェクト」

これまでの活動

健康で持続可能な社会を実現するために「ロハス工学」を提唱。2021年から大学付近にある古川池の多面的な機能を最大限に引き出すため「ロハスの池プロジェクト」を、地域住民らでつくる古川池愛護会や郡山市と共同で取り組んでいます。将来的には古川池を防災機能だけでなく、地域住民の憩いの場になる公園化を目指しています。



公立大学法人福島県立医科大学

福島市光が丘1 | Tel. 024-547-1111
https://www.fmu.ac.jp

「すべての人に健康と福祉を」
県民の「健康」の維持・増進に
取り組んでいます

これまでの活動

保健、医療、福祉等の分野で活躍する医師、看護師、医療技術者を育成し、高度な医療機器・技術を用いた診療の提供により県民の健康維持・増進に貢献しています。
郡山市と締結した「SDGsの推進に関する包括連携協定」に基づき、健康寿命の延伸と健康格差の縮小につながる共同研究に取り組んでいます。



郡山市と「SDGsの推進に関する包括連携協定」を締結



福島学院大学・福島学院大学短期大学部

福島市宮代字乳児池1-1 | Tel. 024-553-3221(代表)
http://www.fukushima-college.ac.jp

楽しみながら学べる「SDGsすごろく」
ダウンロードもできます！

これまでの活動

情報ビジネス学科の学生有志団体「GreenGreen」がSDGsすごろくを作成し、地域の方とワークショップを開催しました。マス目に止まるごとに各目標について考えられるよう工夫されています。
多くの方に遊んでもらえるようダウンロード用QRコードを公開しています。
グループに分かれてディスカッションしながら遊ぶ等様々な利用法があります。



郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部

郡山市開成3-25-2 | Tel. 024-932-4848
https://www.koriyama-kgc.ac.jp

エコマインドを持った学生・生徒を育てる

これまでの活動

環境に配慮した森林保全や資源再利用、食品ロスを防ぐ活動などを通してエコマインドを持った大学生と附属高校生を育てています。郡山市熱海町に所有する教育林・石筵開成の杜で市内の親子を対象にした自然観察会を催し、森林の大切さを理解してもらうなど、持続的に発展可能な循環型社会づくりに努めています。



石筵開成の杜での自然観察会



福島県生活協同組合連合会

福島市仲間町4番8号 ラコバふくしま4F | Tel. 024-522-5334
http://fukushima.kenren-coop.jp

あなたの消費が地球の未来を変えます！
「エシカルふくしまはじめよう！」

これまでの活動

県が進めるエシカル消費並びに食品ロス削減事業の実証実験に、みやぎ生協・コープふくしま、コープあいち、福島大学生協が協力しました。
SDGsの目標達成につながるよう、組合員(生活者)が自分ごととして捉え、日々の買物の中で実践する機運を醸成する取り組みを地元の大学生の協力をいただきながら進めました。



福島民報社

福島市太田町13-17 | Tel 024-531-4111
https://www.minpo.jp

復興に向かう福島からSDGsの輪を広げ
子どもたちと一緒に持続可能な社会を築きます

これまでの活動 「福島民報社SDGs宣言」に基づき、紙面企画やイベント、奉仕活動などに取り組んでいます。2022年9月には約100の企業、学校、自治体などの出展を得て郡山市で「ふくしまSDGs博」を開催し、2日間で約1万6000人が来場しました。「ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム」の事務局も担っています。



ふくしまSDGs博フィナーレ



SDGsポスター
&
SDGs未来新聞

応募総数 SDGsポスター293点、SDGs未来新聞61点
たくさんのご応募ありがとうございました。

入賞作品が
決まりました!

SDGsポスター



それはゴミじゃない
それはまだ使える宝物

福島第二中学校1年
最優秀賞 鶴宮虎志郎さん(福島市)

あさか開成高校3年
優秀賞 上遠野綾菜さん(郡山市)



SDGs未来新聞



清水小学校5年
最優秀賞 大橋七碧さん(福島市)



会津若松第二中学校
1・2学年選択C学級
(会津若松市)



株式会社 東邦銀行

福島市大町3-25 | Tel 024-523-3131 | https://www.tohobank.co.jp



環境配慮型店舗と金融リテラシー向上の取組み～「地域社会に貢献する会社へ」～



TDテラス宇都宮

これまでの活動 当行では環境に配慮した店舗づくりとして、第一生命保険(株)と共同で中層木造オフィス「TDテラス宇都宮」を2022年10月に竣工しました。地産木材の活用(栃木県・福島県産)、構造体に306立方メートルの木材を使用し約206トンの二酸化炭素を固定化、運用時の電力をすべて再生可能エネルギーで調達等「カーボンニュートラルRE100」を推進しています。また、幅広い年齢層に向けた金融教育活動に取り組んでいます。金融知識のほかSDGsについても講義に取り入れ、金融リテラシーの向上、SDGsの認知度と普及の促進に力を注いでいます。2021年10月からはキッチンカーで県内のこども食堂を訪問し、金融・SDGs教室の開催と子どもたちへのお弁当配布を行う等、こども食堂の活動支援にも継続的に取り組んでいます。



こども食堂 金融教室

これからの展望 SDGsの基本理念「誰ひとり取り残さない」社会の実現に向け、子どもや社会的保護が必要な人々を継続支援してまいります。2023年1月より新たに「とうほうフードドライブ」を開始しました。当行役職員が家庭で余っている食品や日用品を持ち寄り、福祉施設や生活困窮者支援団体等への寄付を通じて、地域の貧困問題の解消や食品ロスの削減に取り組みます。当行はこれからも金融サービスの枠を超えて「地域社会に貢献する会社」を目指してまいります。





地域の社会課題と向き合い、持続可能な地域社会の発展のため美化活動や復興支援などさまざまな活動に取り組みます



防災意識向上を企図したイベントへの参加



フードロス削減を目指したフードポスト

これまでの活動 JTグループは、責任ある地域コミュニティの一員として、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、「格差是正」「災害分野」「環境保全」3つの領域を重点領域と位置づけ、さまざまな地域社会への貢献活動に取り組んでいます。

上記重点領域と関連するSDGsへの貢献を通じて、包括的かつ持続可能な地域社会の発展の実現に向けた活動を行っています。

例えば、地域の皆様と共にフードロス削減を目指して、フードバンク団体と連携しJT福島支社の事務所にフードポストを設置しています。ご家庭などに眠っている食品などがありましたら是非お持ちください。他には、「ひろう」という体験を通じて「すてない」気持ちを育てたいという願いを込めて「ひろえば街が好きになる運動」という清掃活動を行っております。

これからの展望 JTの地域社会への貢献活動である「Rethink PROJECT (リシンク・プロジェクト)」を推進していきます。これは、当たり前をもっと深く考え、「Rethink=視点を変えて、物事を考える」をキーワードに、これまでにない視点や考え方を活かして、パートナーのみなさま（地域社会のさまざまな団体）と「新しい明日」をともに創りあげていくために、社会課題と向き合うプロジェクトです。今後も地域の社会課題と向き合い、持続可能な地域社会の発展のため美化活動や復興支援などさまざまな活動に取り組みます。



持続可能な社会の実現に貢献するため、資源の可能性を再発見し、循環させる



スクラップから再生した金インゴット

これまでの活動 アサカ理研は1969年の創業以来、「有限な鉱物資源を有効活用することで、資源と共存する」という課題と真摯に向き合い事業を続けてきました。最主力事業である「貴金属事業」では、有価金属が付着するスクラップや装置類等から有価金属を回収・再生しています。再生した有価金属は商社へ販売、またはメーカーへ返却しています。市場やメーカーへと資源を戻すことにより、「資源循環」に貢献するものです。次に「環境事業」ではプリント基板の製造工程で発生する、使用済みの廃液を新液として再生し、加えて副産物である銅の回収・販売を行っています。使用済みの廃液を廃棄処分とせず、余すことなく有効活用していることから、この事業も資源循環に貢献しています。アサカ理研は50年以上前から資源再生を通して循環型社会の実現に貢献しています。



LiB再生事業に参入する理由

これからの展望 新規事業として「LiB再生事業」を展開しています。使用済み車載用リチウムイオン電池 (LiB) から、レアメタル回収およびLiB原料への再生を行う事業です。脱炭素化に向けた次世代車の普及に対する動きに呼応し、LiB市場も急速に拡大していますが、LiBをはじめ、最先端デバイスなどの材料として幅広く使用されるレアメタルの調達や鉱山開発には、環境負荷などの課題があります。LiB再生事業ではこの課題を原料再生による資源循環を通して解決するものです。クリーンエネルギーの普及を促し、二酸化炭素排出量抑制に貢献するとともに、希少金属であるレアメタルの資源循環の確立により環境負荷の低減を目指していきます。





「地域資源を発掘」し、「地域課題を解決」する「ふるさと循環型リサイクル企業」

これまでの活動

特徴的な取り組みが3つあります。1つ目は「リサイクルBOX」です。『24時間いつでも』『誰でも』『好きな時』に不要になった、金属製品や缶類、段ボール、新聞、雑誌などの「資源ごみ」を回収するしくみです。当社の資源リサイクル工場「アマルク」に近接して設置しており、ここに集まった資源ごみ収益金の一部を基金化しております。公平性を保つため外部委託している協議会にて寄付する団体様や個人を決めていただき寄付、還元をしております。



資源ごみを回収する「リサイクルBox」

2つ目は「リサイクルミュージアムくるりんこ」です。本社3階に1992年に開設、さまざまな資源リサイクルがどのように行われているかを説明した展示室です。現在1万5000人を超える方に見学いただいております。環境意識に目を向けるお手伝いが出ていますと自負しております。



リサイクルミュージアムくるりんこ

3つ目は「環境×福祉」の連携事業の推進です。東日本大震災後に障がい者福祉事業所「ステップボード」を開設し、障がい者の方が就労する機会を提供しております。2021年12月にはグループホームも開設して地域内で自律した生活を送れる仕組みづくりができつつあります。

これからの展望

荒川産業ではSDGsに取り組んでおりますが、1社でできることには限りがあります。

ですが、幸いにも弊社はグループ法人を含めると合計11法人の企業体となります。グループ全体で17の持続可能な目標を設定して行動して参ります。

もちろん、我々だけでは持続可能な社会は作れませんので地域内の企業様、自治体様に様々な提案をして2030年に福島県を「地域資源循環モデル地区」として世界に発信できるようにチャレンジしてまいります。



太陽光パネルの設置、子ども食堂への寄附、災害時支援協定締結等

これまでの活動

ヨークベニマルでは、SDGs達成のための取り組みを、企業のサステナビリティのために重要な位置づけと捉えて、企業価値の維持・向上を目指すため、お客様やお取引先様、地域社会全体のご満足につながるように積極的に進めております。子ども食堂への寄附や屋内施設 PEP Kids こおりやまの支援のほか、ヨークベニマル店舗における資源物の回収や、認証を受けた商品の販売なども行っています。食品トレー・牛乳パックの資源物回収に関しては、1991年に開始してから30年以上継続して実施しております。また、2020年度より、店舗の屋根の上に太陽光パネルの設置をすすめております。それにより、店舗営業に使用する電気の一部をクリーンなエネルギーでつくることのできるため、環境負荷の少ない電気の活用が実現できます。



福島市子ども食堂への寄附

これからの展望

ヨークベニマルは、地域に根ざした企業として、積極的に社会貢献活動・環境問題などに取り組んでおります。地域の皆さまに対する支援という観点から、災害発生時における物資の供給協力などに関する支援協力協定や、地域との連携を強化し地域の活性化を目指すための包括連携協定を締結しています。ヨークベニマルは、これからも「お店はお客様のために」という創業の理念に基づき、地域のお客様の暮らしを守るライフラインとして、社会課題の解決とSDGs達成のための活動を推進してまいります。



会津若松市との包括連携協定締結式



損害保険ジャパン株式会社 福島支店

郡山市堂前町6-4 郡山堂前合同ビル7階 | TEL 024-991-8233 | <https://www.sompo-japan.co.jp>

事故や災害を未然に防ぎ、 レジリエントな社会づくりに貢献します

これまでの活動 損保ジャパンは福島県、福島市、郡山市、いわき市と包括連携協定を締結しております。地域の魅力発信や地域における安心・安全の確保などを図るため、福島県と連携して取組みを進めてまいります。また、SDGsの必要性についての理解を深めることを目的として「SDGsカードゲームワークショップ」を提供しています。2022年7月には郡山市と連携して郡山市役所の新規採用職員向けにワークショップを開催するなど、SDGs推進について取り組んでいます。



SDGsカードゲーム
ワークショップツール



内堀知事・白川社長
との連携協定の様子

これからの展望 「Innovation for Wellbeing」というスローガンを掲げて、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことができる社会の実現を目指し、保険の枠組みを超えた新たな付加価値の創造に挑戦し続けていきます。



東北コピー販売株式会社

福島市御山字一本松13番地の5 | TEL 024-559-0245 | <https://t-copy.co.jp>

社会課題の解決のために、 仕事を楽しく変える

これまでの活動 目標達成のために生産性の向上と働きがいを従業員とともに創造し、継続したオフィス改善活動を実施しています。SDGsのゴールをオフィス内のロッカーに貼り付けるなど、社員及びパートナーの意識改革・向上に努めています。お客様の生産性向上・働き方改革を支援するためにクラウドを活用したデジタルツールの導入を通し、業務のデジタル化を推進しています！



SDGsのゴールを貼り付けたロッカー



本社オフィス

これからの展望 DX (Digital Transformation)・GX (Green Transformation) を更に加速させ、経営・事業変革を実践し社会と自社のサステナビリティを実現させるために、行動し続けます。



SOMPOひまわり生命保険株式会社 福島支社

郡山市堂前町6-4 郡山堂前合同ビル5階 | <https://www.himawari-life.co.jp>

頑張る『あなた』を応援します！健康応援企業としての取り組み

これまでの活動 当社は万一の保障だけでなく、毎日の健康も応援する「健康応援企業」として、保険機能「Insurance」に健康を応援する機能「Healthcare」を組み合わせた従来にない新たな価値『Insurhealth@』を提供することを経営戦略に掲げてきました。当支社ではインシュアヘルスの理念の下に開発された商品やサービスを地域の皆さまにお届けする活動をしており、昨年はふくしまSDGs博に出店し、地域の皆さまの健康応援活動を行いました。



これからの展望 一人でも多くのお客さまにインシュアヘルスの価値を提供することで健康寿命の延伸に貢献します。お客さまの健康を応援するサービスとしてアプリ「リンクロス 健康トライ」を提供しています。当アプリで生活習慣病リスクを6年後まで予測したり、5年以内にがんが発症するリスクを予測することができます。



アプリはこちら➡



株式会社日本旅行東北 福島支店/郡山支店

福島支店：福島市本町5-8 福島第一生命ビルディング1階 | TEL 024-522-6161 | <https://www.nta.co.jp/tohoku/>
郡山支店：郡山市堂前町6-4 郡山堂前合同ビル3階 | TEL 024-933-5400 | <https://nta-fksko.blogspot.com>

高校生に向けたイベント「サステナブル・ブランド学生 デント・アンバサダープログラム」を実施しています。

これまでの活動 昨年、高校生に企業や他校生と一緒にSDGsを考えてもらう機会を提供すべく、「スチューデント・アンバサダープログラム東北ブロック大会」を郡山で実施しました。東北各地から集まった高校生が、東北で活躍する企業の話聞きながら、オピニオンリーダーのファシリテートのもと、ディスカッションを行いました。



オピニオンリーダー
講演の様子

実施後に論文を提出して選ばれた高校は、「サステナブル・ブランド会議」内で行われるSAプログラムに参加し、発表を行います。

これからの展望 2022年、東北で初めて郡山市で行われた「SAプログラム東北ブロック大会」は、2023年仙台市で行われることが決定いたしました。高校生皆様のご参加をお待ちしております。



ディスカッションの様子

詳しくはお近くの日本旅行東北までお問い合わせください。



生活協同組合パルシステム福島

いわき市常磐西郷町落合278 | <https://www.palsystem-fukushima.coop>

誰もが安心して食べることができる 社会を目指して

これまでの活動 生協パルシステム福島では、地域の福祉やたすけあい活動に貢献する取組みをすすめています。その一つとして、貧困や格差など生活弱者問題について、中通りと浜通りにある子供食堂を運営しているNPO団体などへ、予備青果を定期的に提供する支援活動を行っています。

《予備青果》セットセンターには、傷みや破損を見込んで、注文数よりも多い数が入荷します。その為、配達されずに残る野菜や果物が発生します。これらが予備青果と呼ばれるものです。

これからの展望 事業活動に伴うプラスチックごみ問題については、使用を減らすこととリサイクルの取組みを更にすすめます。

フードドライブや子供食堂などへの支援活動は、引き続き継続して行い、食を通じて地域の皆様に貢献してまいります。



子ども食堂などに送る予備青果



予備青果を提供する様子



株式会社 こんの

福島市陣場町2-20 | Tel. 024-524-2345 | <https://www.konno.gr.jp>

「地球環境を最優先に考え行動する」 当社は、あらゆる場面で コミュニケーションを最も大切にしています

これまでの活動 「持続可能な開発目標」を掲げるのは容易ですが、達成と継続には一人ひとりによる意識と行動が欠かせません。幅広く事業を展開する中、基幹事業の古紙再資源化を通じSDGsに取り組む当社では、毎年地域の方々に向けた古紙再資源化と廃棄物削減の体験機会を設けています。昨年は東北・関東全事業所で開催し、参加された方々に実際の現場で「分ければ資源・混ぜればゴミ」を体感していただきました。

これからの展望 ペーパーレスが進む一方、梱包材として紙需要が増加、「プラから紙へ」も一層進化。紙の原料は古紙か樹木（森林）のいずれかです。CO₂を吸収する森林保護の為、少しでも多くの地域古紙再資源化に取り組みます。



福島営業所



八王子営業所



福島県の魅力を再発見、再確認しよう。
(郡山市・10代男性)

健康的な生活習慣を心掛ける。
(金津若松市・40代男性)

食べ物を残さない。
(郡山市・10代女性)

県内のSDGs情報をもっと発信する。
(福島市・50代男性)

プロジェクトの詳細は公式WEBサイトへ

ふくしまSDGs

<https://sdgs.fukushima.jp>

みんなのSDGs宣言

ごみがあまり出ないものを買う。また、ごみが出たらごみ箱に捨てる。
(郡山市・10代女性)

商品を選ぶとき、環境にやさしいものかフェアトレード等の商品なのかを考えて買う。
(いわき市・小学生女子)

節水や節電をして環境について考える。
(いわき市・小学生女子)

ゴミを分別する。電気をこまめに消す。書き損じハガキなどで寄付する。
(いわき市・小学生男子)

制服の自由を考える。
(郡山市・10代女性)

消費電力の少ないものに変えたり、使っていない家電はこまめにOFFにします。
(金津若松市・40代男性)

地域の清掃活動に参加する。
(二本松市・30代男性)

昔の良いところを学び未来につなげていきたい
(二本松市・70代男性)

捨てるごみを減らします。
(郡山市・30代女性)

株式会社 報徳観光バス

郡山市南2丁目50 | Tel. 024-983-8222 | <https://hotoku-koriyama.com/detail/160/index.html>

地域の安心安全を通して 持続可能な社会へ

これまでの活動 環境配慮の側面から新車両を整備したり、社員へのSDGs研修講座を実施するなど、業務を通してSDGsの目標を達成できるよう社員一丸となって取り組んでいます。中でも力を入れているのは郡山市内の道路で行う清掃活動で、社員を班に分けて定期的に行います。環境の美化のためだけでなく路上の事故を防ぐ目的もあり、地域の安全に繋がります。2022年6月には福島ファイヤーボンズの選手と共に安積地区の清掃を行いました。

これからの展望 今後も社員間で意見を募りながら活動内容を更新し、県内の学校や団体と連携した活動に取り組む予定です。いつもお世話になっている地域の皆様のために、持続可能な社会を目指して社員一同継続して取り組みます。



環境に配慮した最新のバス



清掃活動に参加するファイヤーボンズの選手



株式会社ソーラーポスト

福島市岡部字大蔵52-3 | Tel. 024-535-5741 | <https://solar-post.jp>

ソーラーポストは脱炭素社会の実現のため、持続可能なエネルギーの普及を通じてSDGsを支援しています

これまでの活動 ソーラーポストは太陽光発電の自社施工専門店としてこれまで2000棟以上の設置実績を残してきました。

産業用・家庭用太陽光発電は持続可能エネルギーを創出します。

また、近年では蓄電池を導入することで、自家消費の割合を高め、CO₂の削減に貢献しています。電気代高騰が叫ばれる中、太陽光発電は安価で導入しやすく、国内の主電源たりえるエネルギーとして今後とも普及拡大させることが弊社の使命です。

これからの展望 県民の皆様の電気料金の高額値上げを実感した光熱費削減と脱炭素社会、SDGsの達成に向けた貢献をして、クリーンエネルギー社会の実現を目指してまいります。



太陽光発電の2000棟以上の設置実績



地元スーパーマーケットも自家消費をスタート!!



株式会社櫻エンジニアリング

郡山市島一丁目22番30号 | Tel. 024-953-6830 | <https://www.sakura-gr.co.jp>

インフラ長寿命化及び災害に耐え得るインフラ整備、そして災害への迅速な復旧対応を通して住み続けられるまちづくりを使命とします。また様々な不平等を無くし誰も取り残さない会社と社会を作ります。

これまでの活動 災害に耐え得る安全なインフラ設計を行うとともに、インフラ老朽化問題に取り組み様々なインフラ点検を行い長寿命化の提案を行っています。また自然の持つ多様な機能を利用するグリーンインフラによる水質浄化の研究に取り組んでいます。性別による格差や不平等の撤廃の為に女性の管理職等への登用及び女性の全職域就業支援、また全社員対象の賃金向上を常に目指し、資格取得支援、テレワーク、短日短時間勤務等、フェアで多様性に対応した持続可能な会社作りを実施しています。

これからの展望 多様化する生き方に柔軟に対応し社員の幸福度を高め、社員とその家族ひいては地域に幸せをもたらす企業でありたいと考えています。インフラ長寿命化に努め、近年激甚化する災害に対しては防災・減災・強靱化に尽力してまいりたいと考えています。



2021年11月に完成した新社屋



持続可能な会社づくりを実践する櫻エンジニアリング



みちのく陸運株式会社

福島市飯坂町平野字若狭小屋14-6 | Tel. 024-557-5145 | <http://www.michinoku-exp.com>

安全で環境にやさしい 運行の輪を目指して

これまでの活動 最新の排ガス処理装置が搭載された車両の積極的な導入と、ドライバーへのエコドライブの管理を徹底し、窒素酸化物 (NOx) の排出削減に取り組んでいます。新設した倉庫の屋根に約150坪分のソーラーパネルを設置し倉庫内の照明やリフトの充電、本社社屋の電力として活用しています。また、SDGsの取り組みを行う以前から「Gマーク認定」「グリーン経営認証」を取得しており、環境への配慮と安全の意識はすでに全従業員に根づいています。

これからの展望 日々のアルコール検知をスマートフォンと連動してデータ化するなどデジタル化に取り組んでいます。物流業界のDXを推進し、効率的な輸送による排出ガスの削減と、持続可能な物流ネットワークを構築して地域や協力企業と共にSDGsの輪をつなげていきます。



最新の排ガス処理装置が搭載された車両の導入



株式会社日和田ショッピングモール

郡山市日和田町字小原1 | Tel. 024-968-0300 | <https://smfesta.com>

2021年は「知る」をテーマに活動し、2022年は「学ぶ」「体験」をテーマに商業施設としてできることを心がけました

これまでの活動 2022年は「学ぶ」「体験する」のテーマを追加し活動いたしました。9月16日(金)ー9月27日(火)『SDGsフェス』とし、「健康」「防災」「学び」等イベントを開催いたしました。福島県に本拠地をおくプロスポーツ3団体様との体験会など多岐に渡り開催いたしました。また1月10日は「110番の日」のため郡山北警察署さまとともに不審者から身を守るための「不審者対応訓練」を営業時間中に実施いたしました。

これからの展望 フェスタ専門店街の各お店にもご協力頂き、全体でSDGsを体感できる仕組みをつくれるように心がけます。引き続き地域の情報を発信できる場を提供することで、『気づき』を提案できるように努めます。



集合写真



110番の日 不審者対応訓練



明治安田生命保険相互会社 郡山支社

郡山市中町10-10メルブ郡山2階 | TEL 024-923-2050 | <https://www.meijiyasuda.co.jp>

「ひとに健康を、まちに元気を」をスローガンとして「みんなの健活プロジェクト」と「地元の元気プロジェクト」に、県内2支社総勢約900人で取り組んでいます。

これまでの活動 企業様や自治体イベント、道の駅、公民館などで野菜摂取充足度測定器などの機材を使い、楽しみながら健康づくりに興味を持ってもらう取り組みや、自治体との連携協定のもと、がん検診チラシなどの広報補助、赤十字とも連携した学校での金融・保険・SDGs教育、祭事や文化財、地元を基盤に活動する若手アスリートの支援、福島ユナイテッドFCとの協働のもとJリーグウォーキング実施など、地域のみなさまの暮らし・健康を豊かにするためのさまざまな取り組みを行っています。

これからの展望 企業理念である「確かな安心を、いつまでも」お届けできる企業として、これからも、さまざまなパートナーとも連携のうえ、「健康寿命の延伸」や「金融包摂」、「CO2ネットゼロ」などの社会課題の解決に向けた取り組みを実施してまいります。



健康に意識を向ける野菜摂取充足度測定会 (写真はビッグパレット「ふくしまSDGs博」)



小中高校での金融・保険・SDGs教育の実施 (写真は須賀川市内中学校)



深谷建設株式会社

東白川郡塔町大字塙字大町四丁目6番地 | TEL 0247-43-0277 | <https://fukaya-kk.com>

地域の危機管理産業としての役割を担い、災害に強いまちづくりに貢献してまいります。

これまでの活動 弊社は地域でもいち早くISO14001 (環境マネジメントシステム) の認証登録を受け、「人と自然に優しい高品質なものづくり」を目指して現場における廃棄物・CO2削減や現場のDX化に取り組んでまいりました。また、人材育成や労働環境の快適化のために資格取得支援や職場環境整備を行っています。2022年10月にSDGs宣言書を作成し、会社全体で一丸となって脱炭素・省エネや製品・サービスの品質向上にも取り組んでいます。

これからの展望 地域の方々が安心して快適に生活できるまちづくりのため更なる技術力向上に努めてまいります。また、社会インフラを支える建設業として、社会貢献・地域貢献のために災害発生時は率先して災害対応に取り組めます。



公共施設清掃ボランティアの実施



現場周辺のゴミ拾い



花王グループカスタマーマーケティング株式会社

宮城県仙台市宮城野区榴岡1丁目1-1 JR仙台イーストゲートビル9階 | <https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/>

みんなが笑顔で暮らせるきれいな生活を創ることで、世界中の人々のこころ豊かな未来に貢献していく

これまでの活動 東日本大震災後は仮設住宅を訪問し植栽やハンドマッサージなどの活動を行って参りました。避難指示が解除された地域には花王製品を詰め合わせた「新生活応援セット」を寄贈。富岡町の桜から香料を抽出し含ませたコットンボールを町民らに贈るなどの活動を通じて多くの人に笑顔をお届けしました。地域の施設や学校などと連携し、清潔で美しく健やかな習慣や生活の質向上実現のための啓発講座の展開にも力を入れています。

これからの展望 震災復興が進む中、環境や社会に関する課題、不安も大きくなりつつある。そうした課題を福島に関わる全ての方と一緒に解決し福島の未来に寄り添う活動を推し進めることがSDGs達成につながると考えています。



猪苗代フラワーアート



花王社員・福島イベントにて



あぶくま信用金庫

南相馬市原町区栄町2-4 | TEL 0244-23-5132 | <http://www.abukuma.co.jp>

金融機関の役割を生かしSDGs実現につながる企業へ積極的に投資。金融教育「マネースクール」と高校生対象の「マネーハイスクール」を開催

これまでの活動 福島県内の8金庫は「SDGs共同宣言」を公表し、地域経済の持続的発展に尽力しています。統一商品「SDGsサポートローン」を提供。燃料電池自動車「MIRAI」2台を独自に導入。災害備蓄用無洗米を南相馬市社会福祉協議会フードバンクへ寄付、企業版ふるさと納税を活用した寄付もしています。東北地方の信用金庫初となるタブレット端末を活用した「営業店窓口支援システム」を導入し、ペーパーレス化を進めています。

これからの展望 社会的課題の解決や再生可能エネルギーに取り組む事業を支援します。地域貢献として減災に向けた植樹活動や自然を守る清掃活動へ積極的に参加します。子供たちの金融教育支援として「マネースクール」を継続します。



高校生を対象にした「マネーハイスクール」



ペーパーレスを推進する営業店窓口支援システム



株式会社 高良

南相馬市原町区深野字入龍田117-7 | Tel. 0244-22-7111 | <http://www.takaryo.co.jp>

トータルリサイクルを目指し、 持続可能な開発に貢献

これまでの活動

限りある資源の循環促進のために、日常生活から排出される資源や廃棄物、そしてそれらの引き取り・選別・加工と、リサイクル原料・廃棄物を適正に処理するシステムにすることが地域社会には必要となります。

当社では資源・廃棄物に加え、エネルギー・大気・水・生物多様性・製品・人事労務・地域社会の9分野を重点的取り組みとしました。リサイクル・廃棄物処理の観点から、安心安全な社会に貢献できるよう目標を設定しております。

これからの展望

従来の再生資源事業に加えて、廃棄された太陽光パネルのリサイクルという新たな事業を展開しております。

「地域社会貢献から地球環境をより良くする」をテーマに循環型社会と脱炭素社会に貢献します。



株式会社高良本部エコプラザ



太陽光パネルリサイクル施設



株式会社 福島放送

郡山市桑野4-3-6 | Tel. 024-933-5851 | <https://www.kfb.co.jp>

様々な個人や団体、組織などと SDGsの輪を広げていきたい

これまでの活動

高血圧予防キャンペーン「ウデをまろう、ふくしま!」では、啓発スポットの放送やセミナーを開催。試食会やベジチェックなどを行い、高血圧の予防・改善を働きかけています。夕方情報番組「シェア!」では減塩レシピを紹介。レシピ動画公開、冊子作成など多角的に展開。初開催の「スポGOMI in 郡山」には、県内各地から41チーム168人が参加。制限時間内に決められたエリアでゴミを拾い、種類と量を競いあいました。ゴミを拾って綺麗にするだけでなく、自分達が暮らす街の魅力発見のきっかけにもなりました。

これからの展望

通年事業として「ウデをまろう、ふくしま!」や「スポGOMI in 郡山」、「おにぎりフェス」等のイベント開催の他、「こども食堂・フードバンク支援事業」を継続して展開。又、規格外の県産食材を使い「親子料理教室」や大学、短大等教育機関とのパートナー事業、社員等を対象にしたセミナーを開催していく予定。



高血圧CP (KFB)



スポGOMI郡山



福島防水株式会社

郡山市喜久田町卸二丁目26-1 | <https://www.fukubou.co.jp>

全社員の健康維持と能力開発向上、および 社業を通し持続可能な社会を実現すること

これまでの活動

すべての社員の健康維持のため屋内禁煙を実施。また、自己啓発や能力開発に対する支援を行い、資格取得意欲、能力開発意欲を高め、その達成感を実感させることで働きがいを感じさせ、生産性向上につなげている。

社業の防水工事では高い技術力とCO₂排出量削減効果のある断熱・遮熱の工法で耐久性のある建築物を実現し、住み続けられるまちづくりに寄与する。作業現場では高い施工技術力と高度の施工管理力で材料のムダをなくし、材料を削減することでCO₂排出量削減に寄与している。

これからの展望

ますます地球の温暖化が進む中、これからも社業を通してCO₂排出量削減効果のある断熱・遮熱の工法で耐久性のある建築物を実現し、住み続けられるまちづくりに寄与していく。



全社員の能力開発向上などを支援



CO₂排出量削減効果の高い施工技術力



株式会社 Pur nanala プアナナラ

いわき市常磐水野谷町竜ヶ沢128-2 | Tel. 0246-51-8461 | <https://pur-nanala.com>

未来に残す家づくり

これまでの活動

私たちプアナナラでは、住むご家族と未来のご家族、そして未来の地球を残すために、高性能住宅づくりを行っています。高気密・高断熱の高性能な家は、住む人には温度差に悩まず快適に。また、省エネを実現することで地球環境にも優しい家となるのです。もちろん使う建材も、「おしゃれだから自然素材をたくさん使った家」ではコストがかかりますし、木々も減ってしまいます。地球も言うなれば人類の唯一無二の家です。この大切な地球（家）とご家族の家を未来に残せるように、知識と技術を高めています。

これからの展望

余った木材を圧縮して出来たおしゃれで丈夫なフローリング。これは自然環境にも優しく、ご家族の理想も叶えてくれる素晴らしい素材です。ですが、あまり知られていません。こうしたまだ知られていない最適案を、多くの方々にご提案していきます。また、高性能住宅の良さをもっと多くの方に広め、たくさんのご家族と地球を未来に繋げていくのが私たち工務店の使命です。



大徳産業

いわき市平字九品寺町5-2 | Tel. 0246-23-4556 | <https://www.gurutto-iwaki.com/detail/684/index.html>

いわき市の温暖な気候を生かした、すべての人が住みやすい街を提供し続けます

これまでの活動 「『住みやすい街』=『環境に良い街』」の思いから、陽当たりのよい周りの自然が感じられる住宅・土地づくりを大切にしています。古いアパートを解体せず、改修することで環境への負担を低減し、住むだけで気分が上がる綺麗な内装を意識しています。それをセーフティーネット住宅として、低所得者など住宅確保に配慮が必要な方に賃貸しています。また、これから新築するアパートは全て環境にやさしいZEH（ゼロエネルギー住宅）で建設する予定です。

これからの展望 ふどうさんイベントを主催して、地域のお客様と他業種の企業と連携し“住んで楽しいまちづくり”に貢献していきます。これからも従業員の働き方改革にも力を入れ、ゆくゆくは週休三日制の導入を目指します。



「住みやすい街」を提供する大徳産業



セーフティーネット住宅「マリンハイツ」



SDGsは国連で採択された「未来のかたち」です。

経済、社会、環境にまたがる17の目標の達成を全世界で目指していきます。どのような活動が目標達成につながるのか。

県内の企業、団体などの取り組みを参考に、自分たちには何ができるかを考えていきましょう。

(2022年4月3日～2023年1月15日の掲載分から抜粋)



17の目標

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

2022年4月3日付

株式会社 リオン・ドールコーポレーション

会津若松市栄町2-14 リオン・ドールガーデン6階 | Tel. 0242-26-2111 | <https://liondor.jp>

子どもたちの健やかな成長

これまでの活動 リオン・ドール社会貢献室では、子どもたちの健やかな成長を目的とし、様々な活動を行っています。キッズプロジェクト「自遊ひろば」として展開、子どもたちが自然の体験の中で考え、感じ、楽しむ心を育み、自ら行動し、そして想像し、学び、創造するなど、生きる力や感謝の心を育む大切な時間を楽しみながら経験できるように活動しています。

2022年度の活動では、自然の中で、薪割り体験や野外炊飯・望遠鏡づくり・天体のお話の体験を行いました。野外炊飯活動では、薪割り、火おこし、焼きそばづくりをしました。天体観測では、あいにくの雨模様で観測はできませんでしたが、望遠鏡づくり、天体の話をして、子どもたちに天体に関する興味を持たせる事が出来ました。

これからの展望 リオン・ドールでは、子どもたちの健やかな成長や子どもたちの未来のために地域の皆様とともに、食育・学校支援・地域活動やさまざまな体験活動を通して、人と人とのかけわりを大切に、思いやる心や子どもたちの感性を育ていけるように継続して取り組んでいます。



自遊ひろば



2022年4月17日付

この新聞記事は、福島銀行がSDGsを推進する取り組みについて報じています。記事には「全員参加で課題解決」という見出しがあり、銀行員が地域課題の解決に貢献している様子が紹介されています。また、SDGsの17の目標が掲載されています。

この新聞記事は、天然由来の洗剤の使用について報じています。記事には「天然由来の洗剤を使用」という見出しがあり、環境に優しい洗剤のメリットや、それがSDGsの目標達成にどのように貢献しているかが紹介されています。

2022年5月1日付

福島から未来へ SDGs

福島アスコン

アスファルト再生製造

主な取り組み

- 再生加熱アスファルト混合物の製造販売
- 再生可能エネルギーの調達

17の目標

2022年5月15日付

福島から未来へ SDGs

菱沼農園

規格外の果実を商品化

主な取り組み

- 規格外果実で加工食品の製造
- 地域の活性化を図る取り組み

17の目標

2022年8月7日付

福島から未来へ SDGs

アルテマイスター (保志)

漆を栽培、製品に活用

主な取り組み

- 再生可能エネルギーの調達
- 自然環境への配慮
- 原材料を無駄にしない取り組み
- パートナーシップで目標を達成しよう
- 多様な人たちが活躍できる地域づくり
- 質の高い教育をみんなに

17の目標

2022年10月3日付

福島から未来へ SDGs

会津大建加工

自然に優しい和紙の畳

主な取り組み

- 再生可能エネルギーの導入
- 自然環境への配慮
- 廃棄物のリサイクル活用
- 質の高い教育をみんなに
- 地域連携

17の目標

2022年6月5日付

福島から未来へ SDGs

福島サンケン

使用電力100%再生エネ

主な取り組み

- C0削減
- 各事業所での水排出削減・排水管理
- クリーンエネルギーを利用した生産の促進
- ジェンダー平等の実現

17の目標

2022年7月3日付

福島から未来へ SDGs

丸三製紙

古紙やLNG積極利用

主な取り組み

- 資源の有効活用と環境に優しい生産活動
- 新発電ボイラーを導入し、二酸化炭素排出削減
- 試作条件や雇用環境の改善
- 地域の子ども支援

17の目標

2022年10月17日付

福島から未来へ SDGs

丸東

震災機に働く環境整備

主な取り組み

- 健康経営
- 質の高い教育をみんなに
- 地域経済活性化

17の目標

2022年11月6日付

福島から未来へ SDGs

福島県は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)を契機として、SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」を設置し、取組を進めています。取組の中心は、SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」の設置です。

主な取り組み

- 再生可能エネルギーの導入推進
 - 太陽光パネル、太陽ハイゼマスの導入
 - 省エネ設備の導入
- リサイクル活動
 - 福年、福外ヘラントセルを物付
- 地域連携
 - 取引企業との協働、福年などの定期的な協働
 - 緑地の整備
- 働きやすい職場づくり
 - 男性の育休取得
 - 社内外教育や研修の実施
 - 資格取得のための助成金制度

環境配慮した施工に力

内閣府副大臣 藤田 誠司 氏

「環境配慮した施工に力」をテーマに、SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」を設置し、取組を進めています。取組の中心は、SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」の設置です。

17の目標

2022年11月20日付

福島から未来へ SDGs

SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」を設置し、取組を進めています。取組の中心は、SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」の設置です。

主な取り組み

- 地域の雇用促進・経済活性化
 - 地元人材の積極的な採用と地域経済の活性化
 - 地元企業への情報提供・働き場作り
- 法令遵守・情報セキュリティの向上
 - 経営者・役員・従業員に対する法令研修の実施
 - 個人情報・機密情報の保護に関する研修の実施
 - 事業に関する情報セキュリティ対策の強化
- ワークライフバランス
 - ワークライフバランスの推進
 - 女性の活躍支援
 - 子育て支援
- 脱炭素・省エネ
 - 省エネ・省CO2の実践
 - 省CO2の推進

女性の雇用促進を支援

SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」を設置し、取組を進めています。取組の中心は、SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」の設置です。

17の目標

2023年1月15日付

福島から未来へ SDGs

SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」を設置し、取組を進めています。取組の中心は、SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」の設置です。

主な取り組み

- 農業振興
 - 農産物の加工・製造
 - 農産物の販路拡大
 - 農産物の品質向上
- 地域連携への配慮
 - 食品ロスの削減
 - 地域社会との連携
- 地域連携
 - 関係機関と協力した取組の推進

規格外の果物で加工品

SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」を設置し、取組を進めています。取組の中心は、SDGsの推進を促すための「SDGs推進委員会」の設置です。

17の目標

ふくしまSDGsプロジェクトは
下記企業スポンサー様のご支援をいただいて
運営しています

ASK Circulate the possibilities **株式会社アサカ理研**

アママル 100年前からリサイクル

東邦銀行 すべてを地域のために

Rethink PROJECT

ヨークベニマル

損保ジャパン SOMPO Innovation for Wellbeing

SOMPOひまわり生命 あなたが健康だと、だれかがうれしい。

東北コピー販売

日本旅行東北 生活協同組合 パルシステム福島

あなただけの街の親近バンク **あぶくま信用金庫**

kaol きれいなここに未来に

二の 株式会社

SAKURA Engineering Co., Ltd. 株式会社 桜 エンジニアリング

JAグループ福島 新そう、大地と地域の暮らし、

ショッピングモール ジェイエス

Daitoku Sangyo

福島防水

ソーラーポスト 株式会社

TAKARYO 株式会社 高良

深谷建設株式会社

KFB 福島放送

家作りを、もっとワガママに。

Pur nanala

髙報徳観光バス

みちのく陸運株式会社

明治安田生命

Lion Dor LEON THE DOOR

協三工業(株) (株)協和衛研興業 日東産業ホールディングスグループ 第一生命保険株式会社福島支社

今後も福島県内の多くの方々にSDGsを知っていただき、活動していただくために皆様のご協賛が必要です。

協賛サポーターの詳細については公式WEBサイトをご覧ください。

ふくしまSDGs

<https://sdgs.fukushima.jp>

ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム

- 構成団体 日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県ユニセフ協会、福島大学、JAグループ福島、福島民報社(事務局)
- 賛同・後援 福島県、福島県教育委員会
- 協力 会津大学、福島県立医科大学、福島学院大学・福島学院大学短期大学部、桜の聖母短期大学、日本大学工学部、奥羽大学、郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部、東日本国際大学・いわき短期大学、福島県生活協同組合連合会
- 賛同自治体 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、川俣町、大玉村、鏡石町、天栄村、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町、西郷村、泉崎村、棚倉町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、飯館村 (2023年3月1日現在)